

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)久御山プロジェクト B棟 新	階数	地上2F
建設地	京都府久世郡久御山町東一口モタ	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2019年7月9日
敷地面積	37,930 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱
建築面積	16,215 m ²	確認日	2019年7月22日
延床面積	22,668 m ²	確認者	大和ハウス工業㈱



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9 ★★☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B': ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 88%</p> <p>③上記+②以外の 88%</p> <p>④上記+ 88%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.5</p>
LR 環境負荷低減性		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 2.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>適合</p> <p>十分な断熱材を施工し、熱負荷を抑えた建物 快適に執務を行えるよう、天井高を高くする、リフレッシュスペースを多く確保するなど配慮している。 建設地周辺の環境を踏まえ、敷地内の緑化に努めている。</p>		その他
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外皮部分に断熱材を施工	執務スペースの天井高さを2.7mとし圧迫感のない執務空間としている。 リフレッシュスペースを広く確保している。	敷地内の緑化に努めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI _m 0.72 BPI _m 0.84	OAフロアを採用し、再利用可能性の向上へ取り組んでいる。	屋外照明による光害を防ぐため、事前にチェックをしている。広告物照明は無いため、光害の発生は無。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される